

せたがやホッと子どもサポート「せたホッと」

令和7年度 活動報告 事例紹介

【報告書p.26ー35】



なちゅ

はじめに

これから紹介する事例は、
プライバシー保護のため、複数の事例から構成すると
ともに、内容等も一部変更しております。

報告の流れ

事例1 家庭・家族の悩み

相談者	本人
子どもの所属	小学校
相談方法	はがき 電話

事例2 いじめ

相談者	本人、母親
子どもの所属	就学前
相談方法	電話 ⇒面接

➡ 【事例】から
「せたホツと」の
役割を考察する

【相談者の声】から 子どもは、相談活動をどう感じていたのか

事例 Ⅰ

相談内容：家庭・家族の悩み

相談者：小学生本人から

相談方法：はがき・電話

事例 1
①

家庭・家族の悩み **小学生**

【報告書P32 事例7】

●相談者:本人 ●相談方法:はがき(電話がほしい)⇒電話・面接

【相談内容】きょうだいがいじめてくる。やめてっていう時にやさしく言いたい

・年に1回 全小中学校へ
相談「はがき」を一斉配布
区立小に常置

「せたホツと」からの返事は？〈○をつけてね〉			
てがみ 手紙が ほしい	す 住んでいるところに がっこう 学校に	電話が ほしい	へんじ 返事は いらない
みょうじ		なまえ	
がっこうめい 学校名		ねん 年	くみ 組
す 住んでいるところ			



本人

きょうだいが
いじめてくる。
やめてっていう時に
やさしく言いたい

事例 1

②

家庭・家族の悩み **小学生**

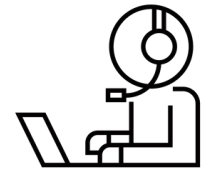
【報告書P32 事例7】

●相談者: 本人 ●相談方法: はがき(電話がほしい) ⇒ 電話・面接

電話連絡

- ・せたホツとに はがきが届いた
- ・返事は電話でほしいとのことで、電話した

せたホツと



相談・調査
専門員



・はがきを送ったことは知っている。内容を教えてもらえないか？

保護者

- ・現段階で 本人から了承を得られていない ので、伝えることができない
- ・本人との話で伝えてもよいということであればお伝えしたい



本人と話ができる時間を確認してあらためて電話をすることに

事例Ⅰ

③

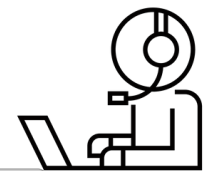
家庭・家族の悩み **小学生**

【報告書P32 事例7】

●相談者: 本人 ●相談方法: はがき(電話がほしい) ⇒ 電話・面接

- ・はがきをありがとう
- ・相談内容について丁寧に聴く

せたホッと



相談・調査
専門員



本人

- ・ケガをしていないか いやだったこと 気持ち
- ・どのように言えたらいいのか 一緒に考える
- ・いやな気持ちの発散のため、楽しいこと好きなことの話

- ・こういうふうに話をしていると安心する
- ・会って話がしたい

事例Ⅰ
④

家庭・家族の悩み **小学生**

【報告書P32 事例7】

●相談者：本人 ●相談方法：はがき（電話がほしい）⇒電話・面接



2回目以降

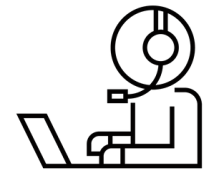
本人から電話や来所面接の希望



本人

- ・小学校や習い事での出来事
- ・友だちとの関係
- ・保護者とのこと
- ・なんだかわからないけど不安になること

せたホッと



相談・調査
専門員

相談・調査専門員が本人のペースを大切に継続的に対応

事例 2

相談内容：いじめ

相談者：未就学児の母親と本人から

相談方法：電話⇒面接

関係機関との連携回数（令和7年度）

964回（前年度比179回増）

そのうち最も回数が多い「学校」342回（35.5%）

事例 2

①

【報告書P28 事例3】

いじめ

未就学

●相談者：本人、母親

●相談方法 電話、面接

【相談内容】 こども園で友だちからのいじめ 本人が「こわい」と登園できなくなっている

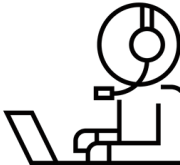


母親

- ・本人から訴え：こども園で友だちから怖い言葉、叩かれる、押される
本人が夜眠れない お腹が痛い→登園できなくなっている
- ・子ども園に相談したが、事実が確認できないとの回答→納得できない

- ・「せたホツと」 未就学児であっても本人の話を聴き、
解決に向けた対応を子どもと一緒に考える機関である
- ・了承を得て、本人と母親の来所を提案

せたホツと



事例 2

②

【報告書P28 事例3】

いじめ **未就学**

●相談者：本人、母親 ●相談方法 電話、面接

「せたホツと」の**場所・人に安心してもらうための関係性づくり**
初回は本人との遊びだけで終わることも

来所面接



本人

【2回目以降】

・お友だち、こわい ・こども園、やめたい ・先生、きらい



母親

・これまでの経緯や家での本人の様子

【せたホツと】

子ども サポート委員 相談・調査 専門員



本人から気持ちをこども園に伝えてほしいとの了承を得て
「せたホツと」が こども園と相談することに

事例 2

③

【報告書P28 事例3】

いじめ **未就学**

●相談者：本人、母親 ●相談方法 電話、面接

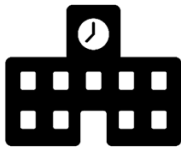
こども園
訪問

- ・園での状況を確認 「こわい」等の本人の気持ちを伝える
- ・子どもが困っていることを先生に話すことのできる1対1の時間の確保や関係性の見直しを要望

【せたホツと】

子ども
サポート委員

相談・調査
専門員



こども園
管理職

- ・クラスの子どもたちと話し合い（怖い言葉、相手がいやだと思うこと）
- ・一人ひとりと話せる時間を作った
- ・送迎時の保護者との情報共有を丁寧に行うよう改善を目指す
- ・今後は本人が困っていることを丁寧に聴く
- ・怖い思いをしないように先生たちがよく考える

➡ 園からの話を本人と母親に伝え、これを区切りに新しい環境を見つけないと終了

(1) 子どもの権利侵害からの回復には、 子ども本人の「どうしたいか」が最も重要

- ・子どもを取り巻く状況の深刻さ、関わる機関の多さ
⇒おとな主導で進む 子どもの気持ちが置き去り
- ・せたホツとは、子ども自身がどう感じ、どのように解決したいか、
そのために「せたホツと」に何ができるかを子ども「と」一緒に考える。
- ・子どもの気持ちが言葉になるのを待つ時間と忍耐必要
⇒遊びで心と身体をほぐす時間 子どものペースで気持ちを聴き続ける

(2) 未就学の子どもや障がいのある子どもの相談

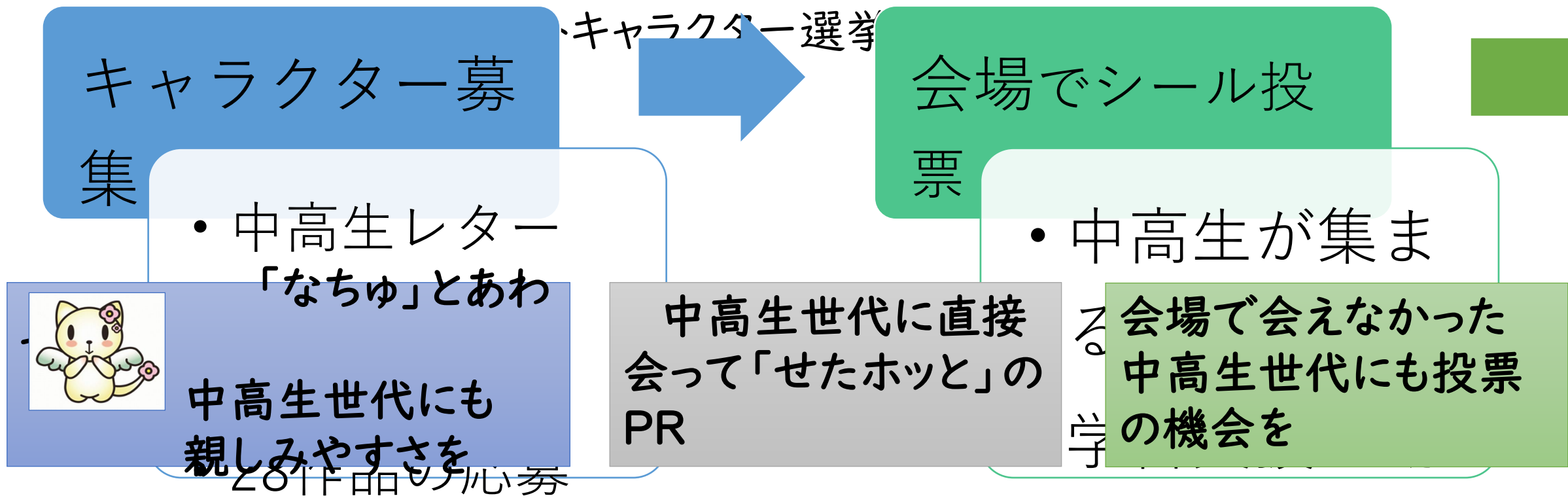
- ・未就学の子どもの相談 R7年度は16件に増加（全体の4.9%）
- ・保護者からの相談であっても、子どもと会って話を聴くことから始める
- ・せたホツとの場所と人に安心してもらう
- ・子どもの話す言葉、表情、目線、動きから思いを汲み取る
 - その子どもにとって一番いいことは何かを考える
- ・**教育・保育施設、福祉施設等の支援者**：日常性・継続性という特性
 - 子どもの思いや願いを理解 子どもの権利の具体化する教育・保育

考察3

事例から考察する「せたホツと」の役割 【報告書より抜粋】

(3) 中高生世代へのアウトリーチ活動

① 中高生の出張相談「カフェ セタホツと」の実施 玉川区民会館 自習室
隣



考察4

【相談者からの声】

子どもは、相談活動を
どう感じていたのか

【報告書p.55－57】

考察4

①

子どもは、どう感じていたのかー「相談者からの声」

【報告書P57より抜
粋】

僕が「せたホツと」に相談したことは、学校のことです。

僕は4年生の時にひどいいじめを受けていました。

先生に、嫌がらせや暴言をやめるように言ってほしいと頼んでも
なかなか改善しませんでした。

親には言えなかったので、学校ではおとなしくしているけど、家に帰ると
泣きわめいたり暴れたりして親に怒られる毎日でした。

そのうち、「自分は なんでこんなことに いちいち傷ついてるんだろ
う」と、自信もなくなっていました。

考察4

②

子どもは、どう感じていたのかー「相談者からの声」

5年生の時、やっと事情を知った母が「せたホツと」に話してくれて、相談に行くことになりました。相談する前は、相談したことを親にばらされな
いか心配でした。

でも、「せたホツと」の人は親切で、親と別の部屋で話を聞いてくれ
たので 安心して話すことができました。友人や先生にはあまり言
えなかったこともすべて話して、話した後は気持ちが楽になってい
ました。

考察4

③

子どもは、どう感じていたのかー 「相談者からの声」

相談が終わった後に「また来てね」と笑顔で見送ってくれたこともうれしかったけど、それよりも話をして気持ちが軽くなったことで「また行こう」
と思えました。

相談した後、いじめた人たちが罰を受けたり謝ったりすることは無
かったけれど、僕の気持ちはすっきりしていました。

悩んでいることを聞いてもらうだけでも、とてもホッとしたからです。

考察4

④

子どもは、どう感じていたのかー 「相談者からの声」

僕は、これから勉強して好きな会社に入って、人生に悔いの無いよう、思う存分に仕事や趣味に没頭したいです。

世田谷区の子供たちの中には、いろんなことで悩んだり、困ったりしている子がいると思います。僕は、そういうことを誰にも言えなくてずっと我慢しているのはすごく辛かったです。

だから「あれ?なんかモヤモヤするな…」と思ったら、「せたホツと」に気軽に相談してほしいと思います。

Thank you

ご清聴ありがとうございました

つづいて第2部は…

「子どもの権利学習の実践」の報告です